



松山デザイナー専門学校  
Webクリエイター学科

令和4年度 シラバス

[1年]

前 期・後 期

【別表】

文化教養専門課程 Webクリエイター学科 Webクリエイターコース

科目名			1年			2年		
必修/選択	科目名	講義/実習	前期	後期	単位	前期	後期	単位
必修								
学科共通								
	デザイン概論	講義	30		2			
	トレンド分析技法	講義	30		2			
	プレゼンテーション	講義		60	4			
	ネット関連法規	講義					30	2
	Webワード分析	講義		30	2			
	Webサイト設計	講義		60	4			
	Webディレクション論	講義					60	4
	Webプロモーション論	講義					30	2
	デジタルプロモーション論	講義		30	2			
	写真映像撮影技法Ⅰ□	実習				30		1
	写真映像撮影技法Ⅱ□	実習					30	1
	グラフィック実習Ⅰ	実習	60		2			
	グラフィック実習Ⅱ	実習		60	2			
	Webデザイン構築	講義	60		4			
	WebプログラミングⅠ	実習	90		3			
	WebプログラミングⅡ	実習		90	3			
	WebプログラミングⅢ	実習				150		5
	情報リテラシー	講義	60		4			
	ビジネスアプリケーション基礎	実習	30		1			
	ネットワーク論	講義				90		6
	データベース論	講義					90	6
	Webサイト制作実習Ⅰ	実習	90		3			
	Webサイト制作実習Ⅱ	実習		120	4			
	Webサイト制作実習Ⅲ	実習				150		5
	Webサイト制作実習Ⅳ	実習					150	5
必修科目 合計			450	450	42	420	390	37
年間合計時間/単位数			900		42	810		37
総時間/単位数			1,710					79

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	デザイン概論			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	梅本 卓弥 菅野 良輔			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	Webデザインの規格、発想からデザインの具現化、伝達にいたるまでに必要な基礎的項目を学習する。これから始まる製作についてのスケジュールの説明を行い、「まず作る」ことから始めることを理解する。						
学習到達 目標	Webクリエイターとして、どのような知識や技術が必要なのかを理解させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ガイダンス・Web人材の展望	授業科目のテーマと目的の解説。Web人材の展望について。					
3～4	サイト検索と解説	学生が興味のあるサイトを探して個人発表後、GWと解説を行う。					
5～7	はじめてのWebサイト	サイトの種類、目的、施策について学習する。サイト開発の流れや、サイト改善、サーバー構築とドメインについて学習する。					
8～9	Webサイトの準備について	グループで制作する場合の体制と役割について学習する。RFPの書き方、各種契約契約書、著作権、知的財産解説とコミュニケーションルールについて学習する。					
10～11	Webサイトの目的を考える	製作サイトの目的の整理やゴールの決定。ターゲット分析とペルソナ作成について学習する。					
12～13	Webサイトの構造を考える	サイトの構造検討、各種設計(コンテンツ、ナビゲーション)、詳細サイトマップ。ワイヤーフレームについて学習する。					
14～15	期末テスト	期末試験実施と解説。					
使用テキスト 教材・教具	書名：イラスト図解式この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本 著者：小出修平、塚田一政、時津祐己、羽廣憲世 出版社：SBクリエイティブ						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、発表20%、期末テスト60%で評価する。						
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要			なし		
備考							

授業科目	トレンド分析技法			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	ネット上で公開されているWebページを検証し、現在の「はやりのレイアウト」を掴む技法を学習します。そのデザインを選択した意図や技術的な進歩がデザインに与える影響など、背景にある要因を読み取るための手法を学びます。						
学習到達 目標	クライアントニーズとユーザーニーズに対し、「見た目のトレンド」「技術的なトレンド」「競合分析」など他角的に分析しサイト制作に落とし込める知識を身につけるようになる						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ディレクターとして企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わずニーズ・予算に応じたサイト制作の提案と設計・進行管理の経験があります。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Webサイトの歴史	Webサイトのデザインや役割における変化の歴史					
2	Webサイトの種類	サイトの種類とそれぞれの役割(前回の小テスト)					
3	業種ごとのトレンド遍歴	業界や業種ごとのWebにおけるトレンドの変化(前回の小テスト)					
4	参考サイトの探し方	ギャラリーサイトや検索エンジンを用いた参考サイトの探し方					
5~6	デザイントレンドの探り方	デザインにおけるトレンドの探り方					
7~8	第1回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表してもらう。					
9	技術的トレンドの探り方	Webにおける技術的なトレンドの探り方					
10	既存サイトの改善分析	対象となるサイトの問題点の洗い出し方と改善案					
11~12	第2回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表してもらう。					
13	改善事例の考察	リニューアル後の改善事例の考察					
14~15	第3回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表してもらう。					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、提出課題20%、レポート発表内容60%で評価する。						
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要			なし		
備考							

授業科目	グラフィック実習 I		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木下 裕子		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	グラフィックデザインの基礎知識とAdobe PhotoshopとIllustratorを使った写真や画像の編集方法について理解する。					
学習到達 目標	グラフィックデザインの基礎、画像素材の作成や修正の技術、画像編集に必要な基礎知識を習得する。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 Adobe製品群を使用し、各種イベント用の動画を制作しています。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	授業概要説明	授業内容の説明、PhotoshopとIllustratorの基礎				
3～6	Illustrator	図形を描く				
7	Illustrator	オブジェクトの変形・整列・パスファインダー				
8	復習テスト					
9	Illustrator	クリッピングパス、レポート、グリッド、ブレンド				
10～11	Illustrator	パターン制作				
12～13	Illustrator	線と文字(フォントとは、アウトライン化と編集)				
14	復習テスト					
15-16	Illustrator課題制作	制作(ロゴ、バナー)				
17～18	Photoshop色調加工	画面復習、画像取り込み、色調補正、色設定とペイント操作				
19～20	Photoshop画像合成	画像の切り抜き(選択範囲の作成・マスク編集)				
21	復習テスト					
22	Photoshopテキスト加工	文字、シェイプ				
23～24	Photoshop画像修正	画像変形、トリミング、キャンバスサイズ、レタッチ				
25	Photoshopフィルター	フィルター、加工				
26	復習テスト					
27～28	ソフトウェア連携	IllustratorとPhotoshopの互換性と相互利用				
29～30	課題制作					
成績評価の 方法・基準						
使用テキスト 教材・教具	書名: 世界一わかりやすい Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書 [改訂3版](世界一わかりやすい教科書) 著者: ピクセルハウス 出版社: 技術評論社					
成績評価の 方法・基準	理解度テスト30%、提出課題70%で評価する。					
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要	なし			
備考						

授業科目	Webデザイン構築			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之/池住 篤子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	コーディング作業に入る前のWebサイトのデザイン決定までの工程について理解する。サイトの目的と内容を理解し、UI/UXに考慮したレイアウトを考える。						
学習到達 目標	サイトの目的と内容について理解した上で、わかりやすさ、使いやすさに配慮したレイアウトを考え、デザインカンプを作成する。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 永田:企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わず100社程度のデザイン経験があります。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	WEB概論	WEBサイトの基礎的な知識とWEB制作の流れを掴む					
2	WEBデザインとは	グラフィックデザインとWEBデザインの考え方の違い(前回の小テスト)					
3	WEBデザイナーの役割	WEBデザイナーの役割(フロントエンドエンジニアとの違い)(前回の小テスト)					
4	使用ソフトの紹介	WEBデザインで使用するソフトとその特徴と違い					
5	配色について	WEBデザインにおける配色について					
6	素材の活用方法	アイコンや画像素材の活用方法					
7	WEBフォントについて	WEBでよく使用されるフォントとその理由					
8	ヒアリングシートについて	ヒアリングシートを元にした構成内容のまとめ方					
9	ワイヤーフレームについて	ワイヤーフレームの役割と重要性(前回の小テスト)					
10	ニーズを意識したデザイン	クライアントニーズとユーザーニーズの違い(前回の小テスト)					
11	コンテンツ幅の考え方	コンテンツ幅を意識したデザインの重要性					
12	モバイルファーストについて	モバイルファーストを意識したデザインの考察					
13	デバイスごとのデザインの違い	デバイスサイズを意識したデザインの考え方					
14	逆引きデザイン	コーディングサイドのスキルから生まれるデザイン					
15	期末テスト	前期総まとめの筆記テスト					
16	XD導入	AdobeXDインストールと環境設定、概略基本操作とツール確認					
17~20	ワイヤーフレームとデザインカンプ作成	アセットパネル、コンポーネント、リポートグリッド、テキスト画像					
21~22	プロトタイプ作成と共有 コーディング準備	プロトタイプとは、リンク設定、プレビュー、端末での操作確認方法 画像アセットカラーの変更、画像の書き出し方法について					
23~28	デザインカンプ作成	各自のオリジナルサイトのデザインカンプを作成する					
29~30	発表	プロトタイプを共有し、発表する。					
使用テキスト 教材・教具	いちばんよくわかるWebデザインの基本きちんと入門[第2版] 出版社:SBクリエイティブ Adobe XDではじめるWebデザイン&プロトタイピング 出版社:翔泳社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、提出課題と発表および期末試験70%で評価する。						
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要			なし		
備考							

授業科目	Webプログラミング I			時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3	
担当教員 (資格等)	池住 篤子/高橋 良昌			時間割	時間割参照	開講期	前期	
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年			
授業科目の テーマと目的	Webページの仕組みを理解し、実践的なWebサイト制作が可能なレベルのHTMLとCSSの知識を習得する。 併せて、Webクリエイター能力認定試験HTML5対応エキスパートの資格を取得する。							
学習到達 目標	Webページの仕組みを理解し、今現在の一般的なレイアウトのWebサイトを作成する。							
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度							
1～2	概要説明とHTML基礎、 CSS基礎と環境設定	授業内容、到達目標についての説明 Webページ作成のための基礎知識について学習する						
3～4	HTMLとCSS基礎と環境 設定	HTML基礎 構造タグ、主要タグについて、またcssの基礎について学 習する。VisualStudioCodeのインストールと使い方を理解する。						
5～10	HTMLとCSSの基本につ いて	汎用タグと基本的なcss設定について学習し、ページ内の各種パーツ を作成する(ナビゲーションパーツ、図表入りテキスト、テーブルレイア ウト、フォーム作成)						
11～12	Webページの構成とファ イル構造	Webサイトのページ構成に必要なファイル構成について理解する。						
13～18	レスポンシブデザインと スクリプトの読込	レスポンシブ対応について、スクリプトやwebフォント、cssファイル等の 読み込みについて学習する。セレクタの指定方法について理解する。						
19～22	理解度チェックと復習	webフォント読み込み、課題の機能を取り込んだページを作成し、理解 度テストを実施する。理解が不十分な箇所については復習をする。						
21～26	エキスパート教科書	教科書の知識問題部分について学習し、教科書の内容に沿って解説 を交えながら教科書課題を作成する。						
27～30	エキスパート練習問題	模擬問題を制限時間内で解く。その後、正答できなかった箇所を確認 しながら修正し、正答例と同様のWebを作成する。						
31～32	問題解説	練習問題の結果、正答率の低い分野から順に解説をする。						
33～34	エキスパート模擬問題1	模擬問題を制限時間内で解く。その後、正答できなかった箇所を確認 しながら修正し、正答例と同様のWebを作成する。						
35～36	エキスパート模擬問題2	模擬問題を制限時間内で解く。その後、正答できなかった箇所を確認 しながら修正し、正答例と同様のWebを作成する。						
37～38	エキスパート模擬問題3	模擬問題を制限時間内で解く。その後、正答できなかった箇所を確認 しながら修正し、正答例と同様のWebを作成する。						
39～42	個別模擬対策	各個人の状況により、模擬問題を解く、誤答の多い分野の解説をする など、個人に合った対策をする。						
43～44	復習	html,cssの基礎がみについているか確認し、理解があいまいな部分に ついての解説と復習を行う。						
45	理解度テスト	制限時間内に与えられた条件でコーディングを実行する。						
使用テキスト 教材・教具	書名: 初心者からちゃんとしたプロになる HTML+CSS標準入門(モバイルファースト、レスポンシブ、 Flexbox) 著者: おのれいこ, 栗谷 幸助, 相原 典佳, 塩谷 正樹, 他 出版社: エムディエヌコーポレーション 書名: Webクリエイター能力認定試験HTML5対応スタンダード公式テキスト 著者: 狩野 祐東 出版社: FOM出版							
参考図書 参考文献								
成績評価の 方法・基準	授業で作成するwebページ制作課題のコーディングの完成度および小テストを60%、理解度テストを 20%、Webクリエイター認定試験の試験結果(エキスパート合格20点)20%で評価する。							
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要			なし			
備考								

授業科目	情報リテラシー			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	菅野 良輔			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	コンピューターについての基礎知識を学習します。学生が、授業で使用するAppleノートパソコンの設定、OSの機能解説や使用方法、接続可能な周辺機器の学習、ネットワークや使用するソフトウェアについても学習します。						
学習到達 目標	Apple/パソコンの環境の設定。授業で使用するソフトウェアのインストールと設定。OSの機能理解。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 Apple/パソコン販売、サポートやOSを含むトラブル対応、ネットワーク構築実務、周辺機器接続販売、サポート等の実務業務を約20年間行う。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説。パソコン、周辺機器初期作業。					
3～4	アプリケーション	マイクロソフト365、Adobe、他ソフトウェアのインストール作業。					
5～6	周辺機器設定	プリンターや周辺機器インストール、設定作業。					
7～10	OSの機能①	オペレーションシステム(OS)についての概要説明。					
11～12	OSの機能②	デスクトップとFinderについて。					
13～14	OSの機能③	フォルダやファイル操作と外部ストレージの使用について。					
15～17	OSの機能④	本体や周辺機器の設定と、日本語入力について。					
18～20	OSの機能⑤	ネットワークと、インターネットについて。					
21～22	OSの機能⑥	ブラウザソフト、メールソフトの基本を学ぶ。					
23～25	OSの機能⑦	標準アプリの活用について。					
26～27	OSの機能⑧	ユーザ管理について。					
28～29	メンテナンス	トラブル解説、再インストール、OS復旧、バックアップについて。					
30	期末テスト	期末試験実施と解説。					
使用テキスト 教材・教具	書名:「macOS Montereyパーフェクトマニュアル」 著者:井村克也 出版社:ソーテック社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、発表20%、期末テスト60%で評価する。						
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要			なし		
備考							



授業科目	ビジネスアプリケーション基礎			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習する。						
学習到達 目標	Microsoft Word, Excel, PowerPointの操作スキルを習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	Wordで基本的な文書を作成する					
2	Word ②	表を活用した文書を作成する					
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する					
4	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
5	PowerPoint ①	PowerPointで簡単なプレゼンテーションを作成する					
6	PowerPoint ②	スライドに表や画像を挿入する SmartArtやグラフを活用する					
7	PowerPoint ③	スライドショーを実行する 配布資料を作成する					
8	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
9	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ					
10	Excel ②	表の体裁を整える 基本の関数を使う					
11	Excel ③	グラフを作成する					
12	Excel ④	いろいろな関数を利用する					
13	Excel ⑤	データベース機能を利用する					
14	Excel ⑥	Excelの便利な機能を活用する					
15	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
使用テキスト 教材・教具	書名:30時間でマスター Office 2019 出版社:実教出版株式会社 ISBN:978-4-407-34835-4						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題70%で評価する						
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要			なし		
備考	なし						

授業科目	Webサイト制作実習 I		時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3
担当教員 (資格等)	池住 篤子		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	Webページの仕組みを理解し、実践的なWebサイト制作が可能なレベルのHTMLとCSSの知識を習得する。					
学習到達 目標	Webページの仕組みを理解し、ランディングページを1つ以上作成する。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	概要説明とHTML基礎	授業内容、到達目標についての説明 サイト政策の流れについての把握と目標設定				
2～3	基本構造とパーツ作成	HTMLの主要なタグと、基本的なcssを使い、webサイトの構造とレイアウトの練習をする。ヘッダー、フッター、ナビゲーション等の構成練習をする。				
4～9	サイト模写	サンプルサイトの完成図を見ながらサイトを作成する。各自のスキルに合わせて複数サイトを模写する。				
10～18	サイト模写	自分で模写したいサイトを決め、模写する。 ローカルサイトに模写データをアップロードする				
19～27	ランディングページの作成	コンテンツ内容を決め、情報設計、デザイン、コーディングを行う				
28～30	中間発表	各自が作成または模写したwebサイト、ランディングページ、グラフィックデザイン等について発表する。				
31～36	ランディングページの作成	内容を決定し、企画書を作成。情報設計後にデザインカンプを作成する。				
37～42	ランディングページの作成	素材を揃え、コーディングをし、webページを作成後、各自のwebサーバー領域にデータをアップロードする。				
43～45	作品発表	各自が作成したwebサイト等の作品を発表する				
使用テキスト 教材・教具	書名:HTML&CSSとWebデザインが1冊できちんと身につく本[増補改訂版] 著者:服部雄樹 出版社:技術評論社					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	授業で作成したwebページのコンテンツ内容を25%、デザインを25%、コーディングの完成度を25%、進捗管理を25%で評価する。					
履修上の 留意点	なし		検定試験の 概要	なし		
備考						

授業科目	プレゼンテーション			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	高橋 良昌			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	聞き手にわかりやすく伝え、発表を通じて相手を説得し、納得させ、購買行動など何らかの行動を起こさせるプレゼンテーションを学習する。企画書や提案書を作成するスキルを学習する。						
学習到達 目標	プレゼンテーションに関する知識を習得し、簡単な企画書や提案書が書けるようになる。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの定義「自らの主張を、受け手に理解してもらい、納得・共感を得ることによって、期待する行動を起こしてもらうこと」を理解する					
3～6	内容設計	プレゼンテーション基本構成を理解し、設計する方法を学習する ビブリオバトル					
7～10	資料のデザイン①	設計した内容を資料に落とし込む方法を学習する					
11～14	資料のデザイン②	相手に伝わるデザインにする方法を学習する					
15～18	伝え方	資料を用いたプレゼンテーション技法を学習する					
19～22	企画書のまとめ方・書き方	企画書に説得力をもたせ、相手の心を動かす企画書の作り方を学ぶ					
23～29	プレゼンテーション	授業で得た知識の範囲で個別にテーマを決めてプレゼンテーションを行い、学習の成果を自己評価および他者評価により確認する					
30	期末考査	学習した範囲を対象に学期末試験を行う					
使用テキスト 教材・教具	書名:いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本 人気講師が教える「人の心をつかむプレゼン」のすべて 著者:高橋恵一郎 出版社:インプレス						
参考図書 参考文献	書名:トッププレゼンターが教える「企画書とプレゼン」実践講座 著者:須藤亮 出版社:日本実業出版社						
成績評価の 方法・基準	学期末試験60%、小テスト20%、課題20%で評価する。						
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要	なし				
備考							

授業科目	Webワード分析		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	ネット上に公開されているデータの収集方法や、キーワード分析、アクセス解析などデータを分析する技術を学習する。またその分析結果から、ターゲット層をWebサイトに誘導するために効果的なキーワードを選定したり、検索エンジンの検索結果上位に表示させるための記事の書き方などを学習する。					
学習到達 目標	クライアントニーズを踏まえた上で、競合や市場の流れを分析するスキルとGoogleのWeb解析ツールの基礎的な活用方法を身につける。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わず100社程度のサイト構築実績があります。その時にキーワードやターゲットの絞りこみ、分析結果を踏まえた提案実績の経験を元に、授業を展開していきます。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	Webワード分析とは	Webにおけるワード分析とは				
2	検索エンジンとは	検索エンジンの種類と違いと特徴(前回の小テスト)				
3	SEOとPDCAの重要性	SEOとPDCAの相関関係について				
4	METAタグの重要性	titleやdiscriptionの設定で得られる効果				
5	「検索フレーズ」と「キーワード」	「検索フレーズ」と「キーワード」の違い				
6	リニューアル時問題点のデータ収集	データツールを用いた分析で問題点の解決につながるサイトキーワードの導き出し方(前回の小テスト)				
7	実際に改善してみよう	デモサイトを用いて実際にキーワードやサイト内フレーズを変更する一連の流れを説明しながら進める				
8	Web解析ツールを活用	Google Web解析ツールを活用した改善点の探し方				
9	Googleトレンド分析	Googleトレンドを用いたワードの分析方法				
10	レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表				
11	Googleアナリティクス分析	デモサイトを用いてGoogleアナリティクスの見方・活用方法を知る				
12	Googleサーチコンソール分析	デモサイトを用いてGoogleサーチコンソールの見方・活用方法を知る				
13	コンテンツマーケティングとは	コンテンツマーケティングを用いたターゲットワードでの集客方法と事例紹介				
14	効果測定考察会	7でおこなった施策で得られた変化を確認しながら考察する				
15	期末テスト	総まとめの内容の筆記試験				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	小テスト10%、提出課題10%、レポート発表内容40%、期末テスト40%で評価する。					
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要	なし			
備考						

授業科目	Webサイト設計		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	梶田 一貴		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	サイト設計に必要なフェーズやドキュメントの作成方法について学習します。概要設計、フロー図の作成、装備する機能一覧、画面設計につて詳しく学習する。					
学習到達 目標	Webサイトに関する設計資料が作成できるようにする。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1~2	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説				
3~4	CSSの歴史と問題点	CSSの始まりや、問題点の解説やWeb開発に複雑化について				
5~7	CSS設計とデザイン連携	CSS設計とデザインシステムとの連携について				
8~9	CSS設計の基本と実践	CSSの基本詳細度とセレクターの種類やカスケードの基礎について				
10~11	さまざまな設計手法	OOCSS、SMACSS、BEM、PRECSSについて解説				
12~13	レイアウトの設計	ヘッダー、フッター、コンテンツエリア(カラム設計)について				
14~20	サンプル設計書	サンプル設計書を利用したの解説				
20~21	その他の技術	CSS開発効率化や軽量化、HTML開発の効率化について				
22~27	設計作成	設計書を作成してみる				
28~29	作成発表	作成した設計書の発表と解説				
30	まとめ	修了試験実施と解説				
使用テキスト 教材・教具	書名:「CSS設計完全ガイド 詳細解説+実践的モジュール集」 著者:半田 惇志 出版社:技術評論社					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、課題作成30%、修了試験50%で評価する。					
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要	なし			
備考						

授業科目	デジタルプロモーション論		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	特別講師		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	現役のインフルエンサーを講師に招き、セルフプロモーションの手法について学習する。携帯での「ばえる」写真の撮り方「YouTube」向けの動画編集、フォロワーとの円滑なコミュニケーション構築手法など自己アピールやコミュニティの広げ方について学習する。					
学習到達 目標	クライアントニーズを踏まえた上で、目標目的に合わせたプロモーションの企画書を作成しプレゼンテーションできる。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1~4	イベント紹介SNSについて①	学園祭等のイベントをアピールするための効果的なSNSの利用について実践を交えながら講義				
5~6	SNS効果の測定と評価について①	閲覧数やフォロワーの評価、相互フォローなどSNS評価と測定について				
7~10	イベント紹介SNSについて②	学園祭等のイベントをアピールするための効果的なSNSの利用について実践を交えながら講義				
11~12	SNS効果の測定と評価について②	閲覧数やフォロワーの評価、相互フォローなどSNS評価と測定について				
13~14	振り返り	2名の講師を迎えて実際のインスタグラマーがどのような活動をし、目標や目的をどこに定めているのかを比較し企画書を作成する				
15	プレゼンテーション	今回の学習で得たものを個別にプレゼンテーションを行い、学習の成果を自己評価および他者評価により確認する				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	提出課題40%、レポート発表内容60%で評価する。					
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要	なし			
備考						

授業科目	<b>グラフィック実習Ⅱ</b>		時間数 (コマ数)	<b>60 (30)</b>	単位数	<b>2</b>
担当教員 (資格等)	<b>池住 篤子</b>		時間割	<b>時間割参照</b>	開講期	<b>後期</b>
選択/必修	<b>必修</b>	講義/実習	<b>実習</b>	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	SE、プログラマに必要な論理的思考力を身に付ける。また、社会に出てからも必要なコミュニケーション能力を身に付けるために、グループでの課題解決も実施する。その他、ITリテラシー等を身に付ける。					
学習到達 目標	SE、プログラマに必要な論理的思考、社会人にも必要な基礎知識やコミュニケーション能力を身に付ける。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	授業概要と復習	授業科目の目的と概要説明、前期グラフィック実習Ⅰの復習				
3～4	Photoshop課題解決問題	課題内容解説&演習				
5～6	Photoshop	課題内容解説&演習				
7～8	Photoshop	模擬問題1				
9～10	Photoshop	解説&個別対策				
11～12	Photoshop	模擬問題2				
13～14	Photoshop	模擬問題3				
15～16	Photoshop	Photoshop試験				
17～20	Illustrator	課題内容解説&演習				
21～22	Illustrator	練習問題				
23～24	Illustrator	模擬問題1				
25～26	Illustrator	解説&個別対策				
27～28	Illustrator	模擬問題2				
29～30	Illustrator	模擬問題3				
使用テキスト 教材・教具	IllustratorQuickMaster 出版社ウイネット ISBN 978-4872848595 PhotoshopQuickMaster 出版社ウイネット ISBN 978-4872848601					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	小テストおよび提出課題の完成度を70%、Photoshopクリエイター認定試験の試験結果(スタンダード合格10点)15%、Illustrator®クリエイター能力認定試験結果(スタンダード合格10点)15%で評価する。					
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要		なし		
備考						

授業科目	WebプログラミングⅡ		時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3
担当教員 (資格等)	池住 篤子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	指定の条件でホームページを作成するスキルを身につける。更に、HTML、CSSの次の段階であるJavascriptの学習の導入として、Webページに動きを付ける簡単な技術について学習する。					
学習到達 目標	HTMLとCSSの発展的内容、Webサイトに動きのあるデザインを取り入れるための技術の習得。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	授業概要説明とHTML5、CSSの復習	この授業の概要と到達目標について説明。 前期授業「WebプログラミングⅠ」の学習内容の、HTML5、CSSの復習				
3～6	ランディングページ作成	シングルカラム例愛とのメリットについて、全画面背景、アイコンフォント、デザインフォントの利用、メディアクエリーでのスマホ対応、CSSでのスクロール効果、LPカスタマイズ				
7～12	ランディングページ2作成	固定ヘッダー、モバイルメニュー、ブレンドモード、グラデーション、カスタムプロパティ、CSSアニメーション、斜めのデザイン				
13～18	2カラムレイアウトページ	モバイルファーストデザイン、CSSでの要素(見出し、画像、ボタン等)の装飾、positionプロパティを使った位置指定、疑似要素について				
19～24	コーポレートサイト	枠からはみ出す要素、グリッドデザイン、フィルターでの色変更				
25～30	ギャラリーサイト	CSSグリッドを使った画像の配置、フィルターで画像の色を変える、ホバーによる画像の拡大、ライトボックスを利用した画面表示、CSSを利用したダークモード対応				
31～33	復習と練習問題	これまでの学習内容について練習問題で理解度を確認し、復習する				
34～40	プログラミングの基礎とJavascriptライブラリ入門	p5.jsを利用した描画と簡単なアニメーション作成を通して、Javascriptの基礎を理解する。描画の基本、文、関数、変数と定数について、四則演算について、エラー対応、if、while、for文についての理解				
41～42	Javascriptライブラリ入門	jQueryの基礎 代表的なメソッドについての学習、トグルメニュー作成、アラート表示、フォームのバリデーション				
43～45	期末試験	時間内に提示された機能を取り入れたWebページを作成する				
使用テキスト 教材・教具	ほんの一手間で劇的に変わるHTML & CSSとWebデザイン実践講座					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題の提出状況と完成度40%、小テスト30%、期末試験30%で評価する。					
履修上の 留意点	なし	検定試験の 概要	なし			
備考						



授業科目	Webサイト制作実習Ⅱ		時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子 高橋 良昌		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	グループ毎で計画、設計したWebサイトシステムの製作を行う。					
学習到達 目標	就職活動用作品と、進級制作発表作品の製作を行い、Webクリエイターとしてのスキルアップを目指す。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説				
3～12	企画立案	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成				
13～22	概要設計	概要設計資料の作成を行う				
23～32	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う				
33～47	製作作業	概要、詳細をもとに、製作作業を行う				
48～55	進級制作発表会準備	発表資料作成と進級制作発表会の準備作業を行う				
56～60	進級制作発表	進級制作発表を行う				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	成果物(作品、企画書、仕様書)100%で評価する。					
履修上の 留意点	グループ内での作業負荷が個人に集中し ないように進めていくこと。	検定試験の 概要	なし			
備考						